

遊びながら 学びながら
ときめき発見！

*** 本号のラインナップ ***

まちの遊学人

東武岳風会 けやき教場
ぬまた きみお
◆沼田 喜見男 さん

熱中 春日部ふれあい歴史塾
かない さだお
◆金井 定夫 さん

サークル紹介

心をつなぐオカリナの音色
～春日部で広がる音楽の輪～
のだ あきこ
◆野田 明子さんの
オカリナ サークル

子育て中でも、吹奏楽がしたい人
大歓迎！
◆ママさんブラスはるびよ隊

生涯学習事業レポート

◆クラシックギター演奏で
憩いのひと時
(武里地区公民館)

◆作って楽しいバルーンアート
(豊春地区公民館)

かすかべ遊学で

あなたの活動を、もっと広めてみませんか？

日ごろより生涯学習に取り組む団体の事業を市のホームページ等で紹介し、
事業名に「かすかべ遊学参加事業」とつけていただくことで
活動の支援を行います。



↑詳しくは
市公式ホームページを
ご覧ください。

まちの遊学人

東武岳風会 けやき教場

沼田 喜見男さん (武里南地区)



師範の沼田さんは、91歳で詩吟をする姿も声はとても若々しいです。話を伺うと、私と同郷の岩手県出身の大先輩でした。しかも、野球の大会選手(ドジャースで活躍中)出身の奥州市のごとでした。詩吟とは、漢詩や和歌などに独自の節回しをつけて吟ずる(歌う)日本の古典芸能です。詩吟という趣味を通じて得た、学び楽しみ、知る喜びが人生に更なる彩りを添えることとなります。春日部市には、詩吟の教場が10教場あり、東武岳風会けやき教場は、旧春吟会(昭和59年開設)から続く一番古い教場です。ただ、会員は昭和生まれが多く、平成生まれ以降の人はほとんどいないのが現状です。近年、学校の教科書に、中国や日本の偉人たちの漢詩掲載が少ないためか、若い人の入会が期待できない現状です。

今日は明日の発表会にそなえて、最後の練習です。

夜墨水を下る 服部南郭

金竜山畔 江月浮かぶ

江揺りき月湧いて金竜流る

扁舟住まらず天水の如し

西岸の秋風二州を下る

(通釈)金竜山のほとり、墨田川の水面に明るい月の影が浮かんでいる。江水のゆらぐにつれ、月の光が波の中から湧き出てきて、さながら金の竜が走ってゆくようである。小舟も軽やかに走り、夜空は水のように清く澄み、右の岸も左の岸もいずれも秋の気が溢れているが、その武州・総州の境の二州の境を下ってゆく。詩吟の普及手段として、漢詩以外に新体詩・和歌・俳句等を取り入れることを推進しています。小中学生から詩吟に興味を持ってもらうために、学校訪問等も考えられています。

毎週金曜午後1時から武里大枝公民館で、練習をしていて、見学大歓迎です。



大きな声で発声練習

熱中 春口部ふれあい歴史塾

金井 定夫さん (庄和地区)



大冢在住の金井定夫さんのひと月は早い。庄和地区市民大学の学友会会員であり、9つのクラブなどでそれぞれ月1〜2回活動しています。屋内では、「井戸端サロン」「男の料理教室」「囲碁部」「春口部ふれあい歴史塾」、屋外では、「美しきふるさとを守る会」「庄和総合公園内の花の管理」「小学校での園芸ボランティア」「ウォーキングクラブ」「クラブアンドゴルフクラブ」などです。

活動の原点は、庄和地区市民大学での「地域に活動できる人材づくり」とそのために必要な人脈づくりです。しかし、高齢化、健康面などで減少していく仲間が集まることは大変です。それでも、久々に会う仲間との会話や一緒に汗を流し、同じ目的、空間、時間を過ごし、体力づくりもできることは何事にも代えられない喜びです。

金井さんが今一番熱中しているのが、「春口部ふれあい歴史塾」で、歴史好きにはたまらない講座です。講座は前期が歴史の講義で今年の内容は「江戸期の時代と人々」です。講師は埼玉県立高校の元教師で、「熱血」を地でいく久保幹夫先生です。豊富な知識と実践に基づき、時にやさしく、時に厳しく教えてくれます。

後期は、会員の自主活動で、課題の中から資料を作成し、成果を発表しております。活動は5グループに分かれており、金井さんは「弥生から古墳時代」を調査し、資料にまとめ上げ発表しました。「やや緊張もしましたが、終えた後の充実感にくせになりそうです。」とのこと。

また、「現地探訪」の「赤穂事件の史実を探る」「吉良邸跡と泉岳寺さら浪士切腹の地へ」では、大勢の仲間と一緒に心が躍った一日でした。来期も「春口部ふれあい歴史塾」の受講を希望しています。

※同塾の来期受講希望者は090-38007-8348 松村まで。



熱心に話を聞く受講生

サークル紹介

心をつなぐオカリナの音色
 春口部で広がる音楽の輪

野田 明子さんの
 オカリナサークル（粕壁地区）



熱心に指導中

皆さんは、オカリナという楽器を知っていますか。現代オカリナは、イタリアが発祥とされ、土笛に西洋音階を導入・改良された楽器です。

その音色は、暖かく丸みのある素朴な響きが特徴です。このオカリナの演奏やサークル活動を主催・指導しているのが、野田明子さん（ライリッシュ・オカリナ連盟講師）です。野田さんは、学生時代にバイオリン、オーボエ、クラリネットを演奏し、現在はフルートも習い始め、音楽を通して毎日を楽しんでいます。

現在、市内では野田さんの指導による複数のオカリナサークルが活動中です。どのサークルも月2回の練習で、火曜から金曜まで曜日ごとに活動しています。火曜は「オカリナそめや」「かすみ草オカリナ」（庄和地区公民館・中央公民館）。水曜は「オカリナハートフル」「ハルリナ」「ブルースカイ」（粕壁南公民館）。木曜

は「とまとの音」「ハッピーメモリー」（庄和地区公民館）など。金曜は「よつ葉のクローバー」と、それぞれ和気あいあいと活動しています。生涯学習市民塾やオカリナ体験会で出会った仲間が中心で、教本を使いながら基礎を学び、やがてアンサンブルや大きさの違うオカリナに挑戦していきます。

サークルでは、公民館祭りやライリッシュ・オカリナ連盟主催の発表会に参加し、年1回、全サークルが一緒に発表会をおこなっています。この発表会は、一昨年は粕壁南公民館コミュニティホールで輪になって演奏し、聴く人と奏でる人が一体となる温かな時間を過ごしました。オカリナの音色に包まれながら、仲間とともに笑顔で音楽を楽しむひとときを、あなたも一緒に味わってみませんか。



輪になって心一つに

子育て中でも、吹奏楽がしたい人大歓迎！

ママさんブラス はるびよ隊

（内牧地区）



本番に向けて猛練習

「ママさんブラスはるびよ隊」は20年ほど前に、代表である奥村由香里さんが、子どもができて夜間の演奏活動が出来なくなった頃、偶然、仙台市の「ママさんブラスびよびよ隊」の公演を埼玉県内で観て刺激を受け、自分達の手でグループを作ってみようという思いで始めました。メンバーは、女性のみで20人程度です。中には子育て中で、赤ちゃんをおんぶしながら活動している人もいます。

活動は月4回（平日2回、日曜日2回）、主に内牧地区公民館で午前10時から午後1時までの3時間です。

会場が確保出来ない時は、庄和南公民館や幸松地区公民館などで練習する事もあります。

楽器は、基本的に個人で用意し、大きな楽器は会費で所有して対応しています。

練習中は、子ども達を飽きさせないように、遊びながら同じ部屋で過ごしています。

毎年6月頃に行う自主コンサートが、最大のイベントです。他にも依頼があれば、幼稚園や児童館等で、不定期に演奏会を開く事もあります。すでに来年の6月に正和工業にじいるホール（小ホール）で行う予定の自主コンサートの成功を目指して、日々練習に励んでいます。

最大の課題は、年々メンバーが減少していることであり、グループを維持して行く事に努めながら、地域の親子にも音楽を届けたいと活動しています。



自主コンサートの発表風景

クラシックギター演奏で 憩いのひと時

武里地区公民館

令和7年8月10日(日)武里市民センター内の寿楽荘でクラシックギターの演奏会を開催しました。寿楽荘は春日部市の高齢者福祉施設です。演奏をお願いしたのは、武里市民センターを拠点にサークル活動を行っているクラシックギター・アンサンブル「タレガース」の皆さんです。タレガースは女性1名を含むセクステット(六重奏)です。

当日は2部形式で、演奏とシンガロング(観客と一体となって歌うこと)を行いました。第1部は「ドナウ川のさざなみ」や「メヌエット」長調などのクラシック曲、「太陽がいつぱい」などのスクリーンミュージック、その他イーシーリスニング曲など10曲が演奏され、来場した50名ほどの皆さんに楽しんでいただきました。演奏曲の大半は誰でもよく聴き慣れた曲でしたので、懐かしいメロディが演奏されるたびに遠い昔の記憶などを呼び起こしていただけではないかと思えます。

続いて第2部は、ギターの演奏に合わせて歌詞カードを用意し、みんなと一緒に歌いました。「あざみの歌」や「希望」など5曲を一緒に歌い、楽しいひと時を過ごしました。参加

者の中には大きな声でテノール歌手のように歌う人や、小声で口ずさむ方など、それぞれが何かを懐かしむように歌っていました。

演奏会を開催すると、日ごろ外出しない人も外に出てきます。これを機会に参加者間の行き来やコミュニケーションが活発化すると良いなと思いました。音楽がもたらす温かい心の繋がりは、より豊かな人間関係の形成に役立つように感じました。これからもこうした演奏会を開催し続けていきたいです。



名曲に酔う

作って楽しい バルーンアート

豊春地区公民館

昨年までの工作教室では、ボール紙を使用し恐竜や万華鏡、マジック

スクリーンなどを作っていました。今年、4月行われた生涯学習市民推進員と公民館との打ち合わせで、風船を使った剣・犬・花などを親子で作るバルーンアートに決定しました。

決定した時から公民館職員も積極的に参加し、7月には関係者だけで予定されている作品を作る予行演習を実施したほどです。

8月30日(土)に豊春地区公民館 講堂にて「親子工作教室バルーン編」を開催しました。当日は講師の関根恵子さんを中心に、開催時間の前から会場にバルーン作品を飾り付けて雰囲気盛り上げました。

バルーン教室が始まる時間には、応募した親子などの参加者18人が会場に入ると、綺麗に飾られたバルーンアートの世界に、こういうものも作れるのかと驚いていました。

講師から作り方の説明を受けた後、いよいよバルーン工作が始まりました。飾り付けた作品と同じ物が出来ると喜びの声が上がり、とても楽しんでる様子が見られました。

膨らませた1本のバルーンから剣・犬・キリンや、少し難しい花や金魚などを時間いっぱいまで、時にはバルーンの割れた音に驚きつつも真剣に、ニコニコしながら作っていました。参加した子どもたちは「楽しかった!」「また来年もやりたい!」と興奮気味に話し、達成感を大いに



上手につくれるかな?

味わった様子でスタッフも大満足でした。またサポーターに回っていた公民館職員も参加者と一緒に楽しい時間を共有でき、一体感が生まれ、笑顔で終わることが出来ました。

生涯学習市民推進員(地区別)(※は編集委員)

- 【粕壁】 市川実、泉栄、佐々木則嗣
- 【内牧】 三輪勝、伊藤有三*
- 【豊春】 杉山亮男、津布久常之
- 【武里】 富岡一雄、白川武文、斎藤義男、山本忠士*
- 【幸松】 室田茂子、中井みえ子
- 【豊野】 本田幸子*、樋口京子
- 【武里南】 山田農久、佐野哲郎
- 【庄和】 栗岡一矛、内山厚一、清水希貞*、上野京子*